

Die Castings



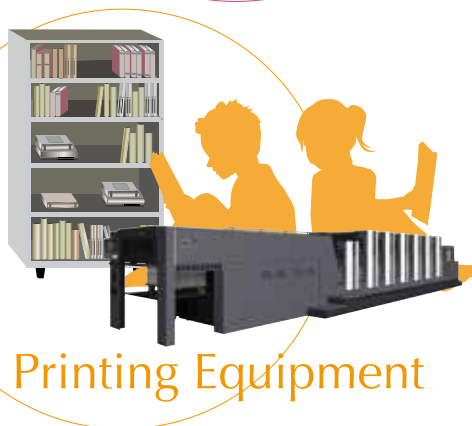
Power Tools



Builders' Hardware

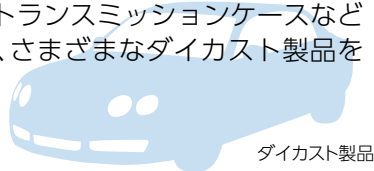


Printing Equipment



ダイカスト事業

リョービは世界トップクラスのダイカストメーカー。シリンダーブロックやトランスミッションケースなどの自動車部品をはじめ、さまざまなダイカスト製品を提供しています。



● 主なダイカスト製品

シリンダーブロック、トランスミッションケース、車体フレーム等の自動車・二輪車用部品

パワーツール事業

本格的な住まいづくりからDIY、美しい庭づくりまでプロユーザーや一般のお客様など、幅広い人に愛されるリョービのパワーツール。リョービはこれからもつくる人を考えて、あらゆる「快適」を生み出し続けます。

電子芝刈機 [LM-2310/2810]



● 主な商品

ドリル、丸ノコ、グラインダ、芝刈機、刈払機、高圧洗浄機、クリーナ等

建築用品事業

ドアを静かに確実に閉めるドアクローザ。ホテルなどの室温を快適に調節する空調制御システム。リョービは安全で快適な住まいやオフィスを実現する建築用品を提供しています。

ドアクローザ [ジオプロ GD-4PV]



● 主な商品

- ・ ドアクローザ
- ・ ヒンジ
- ・ 建築金物等

印刷機器事業

カタログ、ポスター、パッケージなど、美しい印刷物をスピーディーに仕上げる高精度、多機能のオフセット印刷機。

世界中のお客様に独創的で高品質な印刷機やサービスを提供しています。

菊全判オフセット印刷機 [RMGT 10]



● 主な商品

- ・ オフセット印刷機
- ・ 印刷周辺機器等



技術と信頼と挑戦で、
健全で活力にみちた企業を築く。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。第105期（2017年3月期）報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

リョービグループは「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念とし、その具現化を進めております。お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることをめざしております。

リョービグループは環境保全、社会貢献活動、コンプライアンスなどさまざまなCSR活動を行っております。こうした活動を強化し、CSR経営の充実に努めてまいります。

当社は収益力の向上、企業体質の強化をはかりながら、業績に応じた配当を継続することを基本としております。当期（第105期）の期末配当金につきましては、先の株主総会でご承認いただきましたとおり、1株当たり5円（中間配当金5円とあわせて年間配当金10円）といたします。

次期の配当につきましては、2017年10月1日を効力発生日とする株式併合（普通株式5株を1株に併合）を実施しますので、中間配当金は1株当たり5円、期末配当金は1株当たり25円（株式併合を考慮しない場合は1株当たり5円）を予定しています。

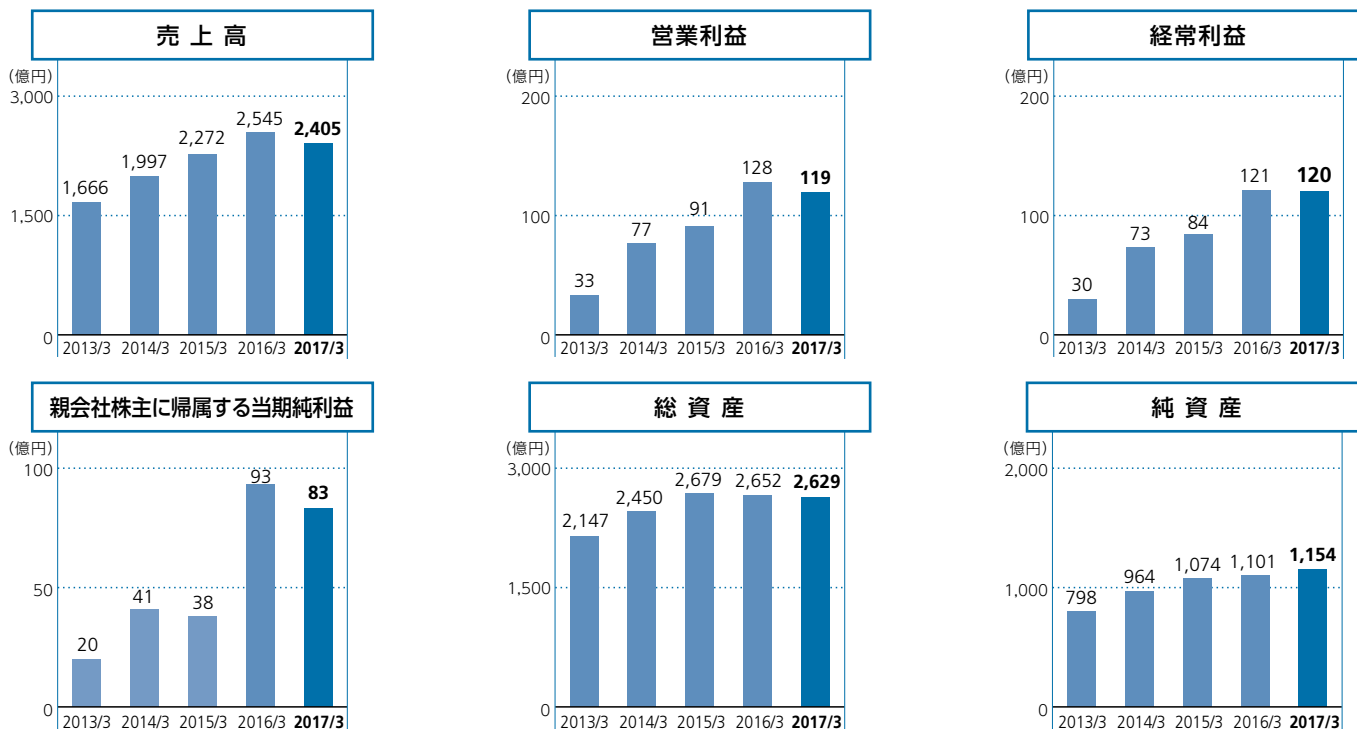
株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末長くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

2017年6月

代表取締役社長

浦上 彰

連結決算の要点解説



●業績推移

科目	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3(予想)
売上高 (百万円)	166,566	199,697	227,163	254,508	240,502	245,000
営業利益 (百万円)	3,307	7,665	9,122	12,832	11,875	12,400
経常利益 (百万円)	2,980	7,264	8,399	12,132	12,013	12,400
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	2,009	4,132	3,809	9,305	8,348	7,700
1株当たり当期純利益 (円)	12.42	25.53	23.53	57.49	51.58	237.88※
総資産 (百万円)	214,725	244,976	267,854	265,197	262,869	—
純資産 (百万円)	79,767	96,433	107,403	110,107	115,428	—
1株当たり純資産 (円)	484.70	565.74	628.89	640.35	668.59	—

※ 2018年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を反映しています。株式併合を考慮しない場合の2018年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は47円58銭となります。詳細は、2017年5月11日適時開示の「単元株式数の変更、株式併合及び定款一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

売上高・利益の状況

当連結会計年度(2017年3月期)の日本経済は、政府や日本銀行の経済・金融政策の効果や円安などを背景に、企業の生産や設備投資、個人消費に持ち直しがみられ、全体としては緩やかに改善しました。海外経済については、米国や欧州は堅調に推移しましたが、新興国を中心に経済成長の減速が続きました。

このような情勢のもとで、リョービグループは積極的な販売活動とユーザーニーズをとらえた新商品の開発を進める

資産・負債等の状況

当連結会計年度末(2017年3月末)の総資産は、前連結会計年度末に比べ23億27百万円減少し、2,628億69百万円となりました。減少は主に現金及び預金26億70百万円、有価証券10億17百万円、有形固定資産58億45百万円等によるものです。その一方で、増加は受取手形及び売掛金24億74百万円、たな卸資産18億52百万円、投資有価証券26億77百万円等がありました。

負債は、前連結会計年度末に比べ76億48百万円減少し、1,474億40百万円となりました。減少は主に長・短借入金120億19百万円等によるものです。その一方で、増加は社債43億

次期(2018年3月期)の見通し

今後の日本経済は、政府や日本銀行の経済・金融政策の効果などで、景気は緩やかな回復基調が続くことが期待されますが、雇用情勢が安定している中においても個人消費は伸び悩んでいるなど、先行きに対する懸念は拭えない状況にあります。また、海外については、米国や欧州は堅調さを維持するとみられ、世界経済は緩やかながら回復基調が続くと予想されます。

このような情勢のもとで、現時点における2018年3月期の連結業績は、増収、営業増益、経常増益の見通しです。しかしながら、当連結会計年度に繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴う税金費用の減少があったため、親会社株主に帰属する当期純利益については減益となる見通しです。

ダイカスト事業は、国内は当連結会計年度と同程度の受注を見込んでいます。海外については、北米は一部得意先での計画的な生産ラインの入れ替えの影響などで減収を見込んでいま

とともに、原価低減や生産性向上、業務の効率化など諸施策を実行しましたが、前連結会計年度に比べ円高で推移したことから海外子会社の売上高や利益は目減りし、当連結会計年度の業績は、前連結会計年度に比べて減収、減益の結果となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、米国子会社にて税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の回収可能性を見直したことによる税金費用の減少が含まれています。

等がありました。受取手形割引高及びリース債務を除いた有利子負債残高は、741億61百万円となりました。

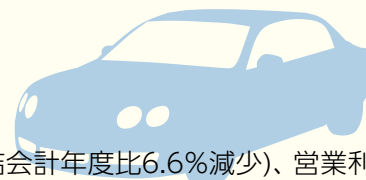
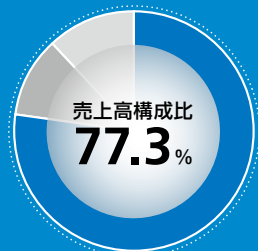
純資産は、前連結会計年度末に比べ53億21百万円増加し、1,154億28百万円となりました。増加は主に利益剰余金67億43百万円、その他有価証券評価差額金19億4百万円等によるものです。その一方で、減少は為替換算調整勘定41億90百万円等がありました。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は、前連結会計年度末に比べ45億69百万円増加し、1,082億10百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.1ポイント増加し、41.2%となりました。

すが、中国の製造子会社2社で増収を見込んでおり、事業全体では増収の見込みです。利益については、中国の製造子会社2社の増益や英国製造子会社の生産性向上などにより、事業全体では増益の見通しです。

住建機器(パワーツール、建築用品)事業は、販売促進活動の強化や新商品の投入等で増収を見込んでいます。利益については、増収に伴う増益はありますが、中国元の為替レートを当連結会計年度比で中国元高に想定していることから売上高原価率は上昇し、減益になる見通しです。

印刷機器事業は、国内は当連結会計年度と同程度の受注を見込んでいますが、アジア向けの売上高減少などで、事業全体では減収となる見込みです。利益については、減収に伴う減益などで若干の減益になる見通しです。

ダイカスト 事業



■ 当期の業績

売上高は1,856億43百万円(前連結会計年度比6.6%減少)、営業利益は90億27百万円(同14.3%減少)となり、前連結会計年度に比べて減収、減益となりました。

事業全体の生産重量は増加しましたが、売上高については、国内の減収に加えて、為替変動による海外子会社の売上高への影響で、減収となりました。利益についても、国内での減収に伴う減益や為替変動による海外子会社の利益への影響で、減益となりました。

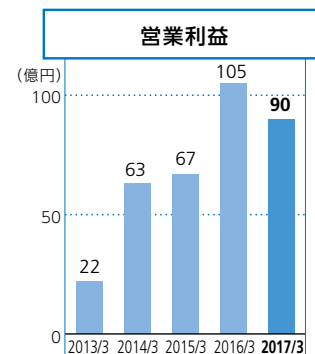
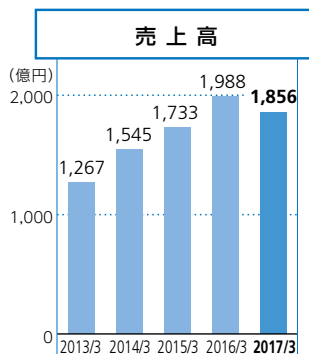
■ 事業展開の方向性

世界中の取引先のニーズに対応できる開発・供給体制のもと、グローバルな自動車部品サプライヤーになることをめざしています。

日本、米国、メキシコ、英国、中国、タイに拠点を構え、世界トップクラスのダイカストメーカーとしてのノウハウを活かして、グローバルに自動車メーカーなどとの関係を強化しています。そして、営業力の強化、価格競争力の強化、品質保証能力や生産性の向上などに取り組みながら、国内・海外での受注拡大を進めています。

ダイカストの主な需要元である自動車市場は、国内は中長期的に縮小が予想されますが、海外は北米や中国等での拡大が期待されます。北米においては、米国の工場拡張とメキシコ生産拠点の生産設備の増設を進めています。

リサイクル性に優れたアルミダイカストは、軽量かつ耐久性に富み、自動車の軽量化に貢献し、省エネルギー・省資源など環境保全にも有効な技術としても注目されています。リョービグループは高品質な製品、付加価値の高い製品の開発に一層注力します。特に自動車分野においては、軽量化ニーズに応えるための工法開



発を進めるとともに、自動車の電動化にも注目してパワートレイン部品以外の自動車部品（車体部品等）のダイカスト化にも取り組んでいきます。

■ダイカスト製品の採用例

2016年11月の販売開始以来、次世代のエコカーとして注目されている日産自動車株式会社様の電気自動車のモーターケースカバーに当社のアルミダイカスト製品が採用されています。このカバーはモーターケースの前後に位置し、冷却水路としての機能もあるため高い気密性が必要な部品です。当社のダイカスト技術は最先端の電気自動車にも貢献しています。



モーターケースカバー（フロント/リヤ）



NISSAN NOTE e-POWERへ搭載

「2016 日本ダイカスト会議・展示会」に出展

TOPICS

2016年11月24日～26日の3日間、「2016 日本ダイカスト会議・展示会」がパシフィコ横浜で開催され、当社も出展しました。

ブースでは自動車の軽量化に貢献するアルミダイカスト製ボディ・シャシーや当社製品を組み合わせた自動車のオブジェなどを展示し、先進のダイカスト技術をPRしました。会議では、研究論文及び現場改善事例発表が行われ、当社は4件の発表を行いました。また、静岡工場の見学会を実施するなど、多くの方に当社のダイカスト技術を知っていただくことができました。

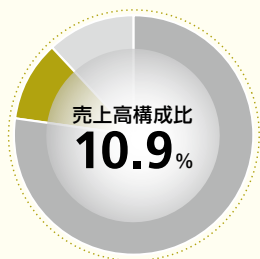


会場の様子



独自技術の紹介コーナー

住建機器 事業



Power Tools

パワー ツール 事業

Builders' Hardware

建築用品 事業

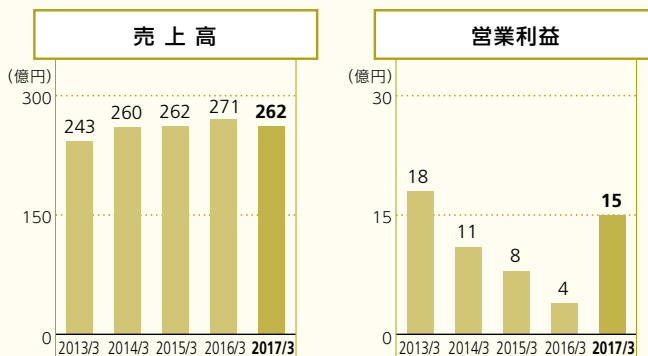
Power Tools and Builders' Hardware

当期の業績

売上高は261億62百万円(前連結会計年度比3.4%減少)、営業利益は14億68百万円(同241.1%増加)となり、前連結会計年度に比べて減収、増益となりました。

売上高はパワーツール事業での国内販売の減少などで減収となりましたが、利益については、中国元安による売上高原価率の低下で事業全体の利益率が改善し、増益となりました。

(注) 住建機器事業はパワーツール事業と建築用品事業で構成されています。有価証券報告書の会計セグメントはパワーツール事業と建築用品事業を合算した住建機器事業の業績でご報告しており、当報告書もそれに準じた業績開示報告となります。



Power Tools

パワーツール 事業



■事業展開の方向性

ユーザーのニーズを具現化する商品開発力を軸に、「快適」にこだわった商品とサービスで「選ばれるブランド」になることをめざして、ユーザー接点の拡大、販売力、商品開発力、製造力の強化に取り組んでいます。軽量、コンパクト、使い心地のよさをコンセプトに、プロ用からDIY用まで幅広いユーザーのニーズに合う、快適で付加価値の高い商品とサービスの提供を進めています。

また、海外での販売力の強化や中国にある製造子会社の生産性、収益性、品質の向上などの取り組みを推進して、事業全体の収益力を高める体制づくりを進めていきます。

■電子芝刈機 [LM-2310/2810]

電子芝刈機 [LM-2310/2810] は、今シーズンも好調な販売を続けている人気の商品です。伸びた芝を刈るだけでなく、芝の育成をサポートする機能も充実しています。芝刈り用のリール刃を別販売品の「サッチング刃」に付け換えることで、「サッチ」と呼ばれる芝の間に残った古い葉や根などを除去することが可能です。更に地中に伸びる芝の茎を適度にカットし、芝芽の生長を

促す「根切り刃」(別販売品)に付け換えれば、土壤の改善と芝の健全な育成につながります。

[LM-2310/2810] は、美しい芝生を永く楽しむための充実した機能を備えた「芝を育てる芝刈機」として、多くのお客様からご支持をいただいています。



電子芝刈機 [LM-2310/2810]



■小型レシプロソー [RJK-120]

小型レシプロソー [RJK-120] は、2007年発売以来、リフォーム、解体工事、電気工事の現場で活躍する「電動アシスト手ノコ」として高い評価をいただいているロングセラー商品です。壁際や天井など、作業が難しい場所での優れた操作性や片手作業での取り回しの良さが支持されています。



小型レシプロソー [RJK-120]

建築用品 事業

Builders' Hardware



■事業展開の方向性

国内ドアクローザ市場のマーケットリーダーとして、施工性や快適性を追求した商品開発と事業全体の収益性向上をめざしています。主力商品であるドアクローザや引戸クローザの機能性や意匠性を追求して、ビル市場、住宅市場でお客様に満足していただける高品質な商品の開発に取り組んでいます。

また、中国にある製造子会社の生産性向上やコストダウンを推進し、国内のさらなるシェアの拡大と海外での拡販を進めると同時に、中長期的に最適な生産体制についても検討していきます。

■「ジオプロシリーズ」のラインアップを充実

「シンプルで洗練されたデザイン」をコンセプトに開発されたジオプロシリーズは、「アームリンクタイプ ドアクローザ」「コンシールドドアクローザ」「ピボットヒンジ」の商品ラインアップにより、多くの設計事務所に支持され、オフィスビルや学校などで幅広く採用されています。昨年6月、建築空間

に対する更なるニーズに対応できるよう、「トラックレールタイプ」を追加



ジオプロシリーズ「トラックレールタイプ」

し、ラインアップの充実をはかっています。「カム機構」と「ラック&ピニオン機構」の2本のシリンダーを搭載した「ダブルシリンダー方式」を採用して、「力強い閉鎖力」と「安定した閉鎖速度」の両立を実現しています。



ダブルシリンダー方式を採用

「第23回建築・建材展 2017」に出展

TOPICS

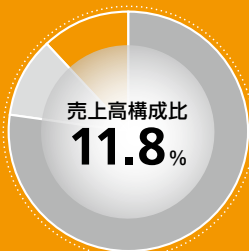
2017年3月7日～10日までの4日間、東京ビッグサイトで開催された「第23回建築・建材展 2017」に出展しました。

ブースでは、フラッグシップモデルのジオプロシリーズ各種を実際の扉に設置。空間に調和するシンプルな意匠や「ダブルシリンダー方式」の高い性能を来場者の皆様に体感していただきました。



ドアクローザの沿革紹介コーナー

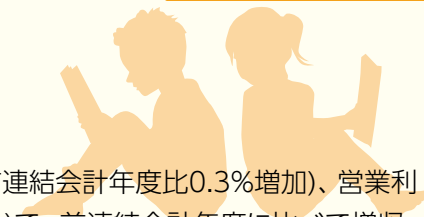
印刷機器 事業



■ 当期の業績

売上高は284億円57百万円（前連結会計年度比0.3%増加）、営業利益は13億58百万円（同26.5%減少）で、前連結会計年度に比べて増収、減益となりました。

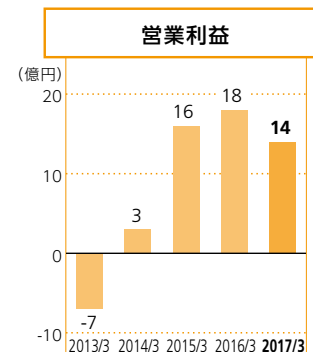
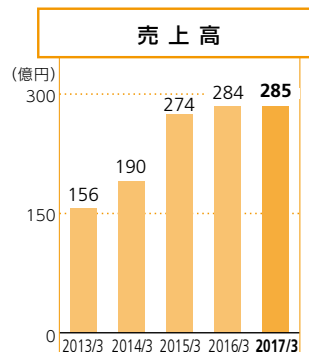
売上高は、国内での大型・中型機の受注や欧州向けの輸出は増えましたが、米国や中国、南アジア向けの輸出は減少し、事業全体では微増となりました。利益については、展示会等の販促費用の増加などで減益となりました。



■ 事業展開の方向性

「ともに、世界へ彩りを。」をテーマに、独創的な技術をもとに、高品質な印刷機やサービスをグローバルに提供し、豊かな社会づくりに貢献することをめざしています。

小型から大型まで豊富なバリエーション（サイズ・機能・仕様等）を取り揃えるオフセット枚葉印刷機を中心に、環境に配慮した商品を開発・製造し、国内および海外で幅広く販売しています。今後需要の拡大が見込めるパッケージ市場での拡販を進めるとともに、国内、海外のお客様のニーズに最適なソリューションを提供して、印刷業界との信頼関係を深めることに注力していきます。



■「印刷品質管理システム PQS-D」

近年、印刷会社の生産現場では印刷品質に対する取り組みがますます重視されています。こうしたニーズに応じて、A全判オフセット印刷機「RMGT 9シリーズ」向けに、印刷品質をリアルタイムでチェックする装置「印刷品質管理システム PQS-D」を開発しました。

「PQS-D」は排紙部の検紙カメラで搬送中の用紙を撮像し、汚れや傷などが入った不良紙を自動で検出します。さらにインクジェットプリンターで印刷用紙の余白部分に番号を印字することで、不良検出時にはこの番号を基に不良紙を確実に取り除くことが可能になりました。



また「PQS-D」は印刷中に濃度測定をしながら、インキの供給量を自動補正し適正な印刷濃度に調整する機能を有しています。そのため、印刷中に用紙を抜き取って確認することなく濃度調整が行えるなど、生産現場の効率向上に寄与します。

「PQS-D」は不良紙の流出防止による品質管理機能強化と、濃度管理作業を軽減する装置としてお客様から高い評価をいただいています。

「2017 新春ショー」を開催

TOPICS

2017年2月14日、15日の2日間、東京支社のショールームにて「2017 新春ショー」を開催。158社272人に来場いただきました。LED-UV印刷システムを搭載した最新の印刷機を中心に、B1サイズからA3縦通しまで幅広いラインアップのオフセット印刷機による実演を行いました。また、印刷サンプルや周辺機器・関連資材メーカーの展示やセミナーも実施。最新情報の発信やビジネスモデルの提案により盛況を呈しました。



セミナーの様子



独自技術の紹介コーナー

連結財務諸表

貸借対照表 (2017年3月31日現在)

科目	当期	前期
資産の部		
流動資産	126,665	126,616
現金及び預金	17,402	20,073
受取手形及び売掛金	57,530	55,056
有価証券	1,075	2,093
たな卸資産	45,424	43,571
繰延税金資産	1,316	1,474
その他	3,977	4,407
貸倒引当金	△ 61	△ 60
固定資産	136,118	138,539
有形固定資産	111,432	117,278
建物及び構築物	30,731	32,504
機械装置及び運搬具	46,597	53,154
土地	21,922	23,276
建設仮勘定	8,622	4,305
その他	3,559	4,037
無形固定資産	3,009	2,994
投資その他の資産	21,676	18,266
投資有価証券	15,063	12,386
繰延税金資産	5,181	5,328
その他	1,498	644
貸倒引当金	△ 67	△ 93
繰延資産	86	41
資産合計	262,869	265,197

単位:百万円

科目	当期	前期
負債の部		
流動負債	109,518	105,920
支払手形及び買掛金	38,519	38,788
短期借入金	34,293	35,467
1年内返済予定の長期借入金	15,949	10,612
未払法人税等	862	1,852
賞与引当金	2,012	1,999
役員賞与引当金	60	63
その他	17,821	17,136
固定負債	37,922	49,169
社債	6,900	2,600
長期借入金	17,018	33,201
繰延税金負債	1,784	1,007
再評価に係る繰延税金負債	507	507
退職給付に係る負債	8,810	8,847
その他	2,901	3,004
負債合計	147,440	155,089
純資産の部		
株主資本	102,196	95,442
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	23,776	23,765
利益剰余金	62,283	55,540
自己株式	△ 2,336	△ 2,335
その他の包括利益累計額	6,014	8,198
その他有価証券評価差額金	6,551	4,646
繰延ヘッジ損益	—	△ 10
土地再評価差額金	737	737
為替換算調整勘定	518	4,709
退職給付に係る調整累計額	△ 1,793	△ 1,885
非支配株主持分	7,218	6,466
純資産合計	115,428	110,107
負債純資産合計	262,869	265,197

損益計算書(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

単位:百万円

科目	当期	前期
売上高	240,502	254,508
売上原価	202,845	216,056
売上総利益	37,657	38,451
販売費及び一般管理費	25,782	25,619
営業利益	11,875	12,832
営業外収益	2,308	2,369
営業外費用	2,170	3,069
支払利息	1,348	1,873
その他	821	1,195
経常利益	12,013	12,132
特別利益	734	57
固定資産処分益	533	57
投資有価証券売却益	201	—
特別損失	1,597	167
固定資産処分損	254	158
減損損失	1,297	9
投資有価証券評価損	45	—
税金等調整前当期純利益	11,150	12,023
法人税等	2,040	1,819
非支配株主に帰属する当期純利益	761	898
親会社株主に帰属する当期純利益	8,348	9,305

株主資本等変動計算書(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

単位:百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	18,472	23,765	55,540	△2,335	95,442	4,646	△10	737	4,709	△1,885	8,198	6,466	110,107
会計方針の変更による累積的影響額			13		13								13
会計方針の変更を反映した当期首残高	18,472	23,765	55,554	△2,335	95,456	4,646	△10	737	4,709	△1,885	8,198	6,466	110,121
当期中の変動額													
剰余金の配当			△1,618		△1,618								△1,618
親会社株主に帰属する当期純利益			8,348		8,348								8,348
自己株式の取得				△0	△0								△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		10			10								10
株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額)						1,904	10	—	△4,190	91	△2,184	751	△1,432
当期変動額合計	—	10	6,729	△0	6,740	1,904	10	—	△4,190	91	△2,184	751	5,307
当期末残高	18,472	23,776	62,283	△2,336	102,196	6,551	—	737	518	△1,793	6,014	7,218	115,428

キャッシュ・フロー計算書(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

単位:百万円

科目	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,552	22,784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,142	△14,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,660	△4,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	△428	△268
現金及び現金同等物の増減額	△3,679	3,240
現金及び現金同等物の期首残高	19,850	16,609
現金及び現金同等物の期末残高	16,170	19,850



自己株式の消却に関するお知らせ

当社は、2017年5月11日開催の取締役会において、会社法178条の規定に基づき、保有する自己株式の一部(8,000千株)を消却することを決議し、5月31日に消却いたしました。消却後の発行済株式総数は163,231千株、自己株式総数は1,382千株となりました。

株式の概要／会社の概要／役員

●株式の概要 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数	500,000千株
発行済株式の総数	171,230千株
株主数	7,833名

株式分布状況

<所有者別>合計7,833名/171,230千株

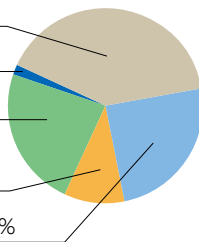
■ 金融機関 49名 69,436千株 40.55%

■ 金融商品取引業者 44名 2,488千株 1.45%

■ 外国人 197名 40,014千株 23.37%

■ 事業会社・その他法人
162名 17,156千株 10.02%

■ 個人・その他 7,381名 42,137千株 24.61%



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.74
菱工会持株会	8,471	5.23
第一生命保険株式会社	8,067	4.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,428	3.97
日本生命保険相互会社	6,240	3.85
公益財団法人浦上奨学会	5,700	3.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,304	3.27
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,218	3.22
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	5,199	3.21
三井住友信託銀行株式会社	3,503	2.16

(注) 当社は、自己株式9,382千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

●会社の概要 (2017年3月31日現在)

社名 リョービ株式会社
 英文社名 RYOBI LIMITED
 創立年月日 1943年12月16日
 資本金 184億72百万円
 社員数 1,749名

主なグループ会社

●ダイカスト事業

リョービミラサカ株式会社
 リョービミツギ株式会社

株式会社東京軽合金製作所
 生野株式会社
 RYOBI DIE CASTING (USA), INC.
 RDCM, S. DE R.L. DE C.V.
 RYOBI ALUMINIUM CASTING (UK), LIMITED
 利優比压铸(大連)有限公司
 利優比压铸(常州)有限公司
 RYOBI DIE CASTING (THAILAND) CO., LTD.
 利佑比(上海)商貿有限公司

●住建機器事業

リョービ販売株式会社
 利優比(大連)机器有限公司

●印刷機器事業

リョービMHIグラフィック
 テクノロジー株式会社

●役員 (2017年6月23日現在)

取締役	
代表取締役	浦上 彰
取締役	横山 隆志
取締役	鈴木 健二郎
取締役*	大岡 哲
取締役	川口 裕幸
取締役*	山本 裕二
取締役	鈴木 隆
取締役	望月 達由
取締役*	伊香賀 正彦

*印は社外取締役です。

監査役		
常勤監査役	小林 照三	
監査役*	荒井 洋一	
監査役*	畑川 高志	

*印は社外監査役です。

執行役員		
社長	浦上 彰	
常務執行役員	横山 隆志	
執行役員	鈴木 健二郎	
執行役員	川口 裕幸	
執行役員	鈴木 隆	
執行役員	望月 達由	
執行役員	滝埜 義巳	
執行役員	栢野 隆史	
執行役員	坂本 禎造	
執行役員	浦邊 寛	

「らしごこち」がテーマです。



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主
確定日 3月31日
- 中間配当金受領株主
確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
- 同連絡先
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 5851
- 公告の方法 電子公告 <http://www.ryobi-group.co.jp/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
2. 特別口座に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行でお受けしますので、左記の連絡先にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

RYOBI リョービ株式会社

本社 〒726-8628 広島県府中市目崎町762

TEL (0847) 41-1111

東京支社 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8

TEL (03) 3927-5541

<http://www.ryobi-group.co.jp/>

この報告書はリョービの印刷機で印刷しています。
無断複製・転載等を禁止します。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。